



The Japan Financial News

3月17日 金曜日

2017年（平成29年）

発行所 東京都千代田区九段南
4-3-15 〒102-8677
日本金融通信社
電話03(3261)9971
郵便振替口座 00110-0-17505

第四銀

個人向け貸出、一層増強 住宅ローンの収益管理 精緻化

【新潟】第四銀行は

個人向け貸出の増強を図る。同行は貸出ポートフォリオに占める個人向け残高の比率が低く、「地方銀行上位行平均に対し1割程度下回る」（同行）と分析。最低でもその差を埋める考え。そのため、2016年9月に住宅ローンの収益性管理システムを導入。採算性管理を精緻化し、推進策に落とし込む。

これまで、個人向け貸出の主力となる住宅ローンの収益管理は、エクセルを使った手計算で行っていた。しかし、①最長35年の金利・信用リスク評価②繰上げ返済③経過年数に応じた変わるデフォルト率④など、住宅ローンに関わる特異な条件を踏まえた収益管理には無理があった。このため、新たにシステムハウス社（群馬県）の「Lambda」を導入。優遇金利の適用を含めた具体的な取引明細をすべて入力し、顧客ごとのキャッシュフローの変化を個々に捉える態勢にし

た。さまざまなパターンでの金利シナリオに応じた収益の変化が容易に試算できる。個別事業をベースに、銀行全体はもちろん、地域・顧客属性別などさまざまな切り口で収益性の変化を描きつつ推進。

金利変動にともなう顧客の返済力の変化もシミュレーション。今後、分析項目をより多角化する方針で、金利変動での貸し倒れの變化をモデル化し、融資戦略と連動させていく。

本記事は日本金融通信社「ニッポン」
2017年3月17日号6面に記載されました。